

平成 30 年 7 月 25 日

東川口幼稚園
園長 峯岸 正教 殿

東川口幼稚園
教頭 佐々木 政子

平成 29 年度 東川口幼稚園 自己評価報告書

別添の通り、「平成 29 年度東川口幼稚園自己評価報告書」をここに提出いたします。

以上

1. 園の教育目標

<p>東川口幼稚園の建学の理念は、「真に健全で調和的人格の樹立をめざし、きめ細かな教育計画のもと、個性尊重と自主性の促進につとめ、幼児に最も大切な「しつけ」を重視し、豊かな情操と逞しい創造力を培い、いかなる困難にもくじけぬ実践力と健全な身体をもって自学自律出来る人格の育成を旨として創立された」のである。</p> <p>この理念達成のために、次の教育目標を掲げている。</p> <p>(1) 調和的人格の育成 (2) 健全な心身の育成 (3) 保育の資質向上 (4) 個性尊重と自主性の促進</p>

2. 具体的な目標や計画

<p>評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教員自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善、施設の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。</p>

3. 評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果	結果の理由
(1) 教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	B	子どもの実態や時代の流れを考えた面もあるが就学前の段階として見直す内容もある。
(2) 子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	B	子どもの状況を把握し、成長を毎月まとめ、柔軟な対応を心掛けた。
(3) 学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	B	保育参観や個人票で定期的に保護者に伝えている。
(4) あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	B	子どもの興味、関心が引き出せるよう安全に配慮しながら遊びを発展させることができた。
(5) 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う	A	日々の保育の中で繰り返し指導することにより園生活の流れを理解して活動できるようになった。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
C	教員は責任を持って保育にあたり、自己研鑽に努めたが、客観的に見直す必要がある。

○結果について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
自己評価	一人ひとりが目的を理解し、具体的な目標や課題を達成できるようにすること。